

SQUARE DANCE

初めてシリーズ⑥

初めてのコスチューム

Japan Square Dance Association

一般社団法人日本スクエアダンス協会

人材育成委員会

「初めてシリーズ」は、スクエアダンスを始めてまもない方々が、より充実したダンス活動ができるよう、スクエアダンスの楽しみ方や、クラブ運営の基本をまとめたものです。

皆で楽しむクラブの運営のあり方や、仲間の増やし方、クラブのアニバーサリーの開催の仕方、仲間の情報交換・記録のための会報作り、パーティーでのマナーや、初めて着るコスチュームのことなど、活動にあたって知っておいていただいた方が良いことを、初めて経験する方にも解りやすくまとめています。

どうぞ、皆さまのクラブでご活用いただき、これからのスクエアダンス活動にお役立て頂ければ幸いです。

初めてのコスチューム

初めてスクエアダンスのコスチュームと出会ったとき、いろいろな思いにとらわれたのではないのでしょうか。男性はあまり違和感が無かったと思いますが、女性のパニエには多かれ少なかれ皆さま驚かれ、「可愛い。こんな格好を一度してみたかった」と思われた方、

「どうしよう。とても私には似合いそうもない。」と思われた方、でも一度着用してみると、みるみるうちにスクエアダンスの世界に引き込まれ、スクエアダンスを楽しく踊るためには、やはりこのコスチュームなんだと思われることと思います。スクエアダンスはコスチューム着用で踊るのが基本です。これからコスチュームを楽しく着こなしていくために、皆さまに知っていただきたいことを纏めてみました。

目 次

1. コスチュームにどうしてパニエが必要なのか
日常と違うスクエアダンスの世界への案内人、スカートワーク
 2. コスチュームの作り方
木綿 半袖 スカートの長さ 作り方
 3. 男性のコスチューム
女性へのマナー アクセサリー
 4. 男性役の女性のコスチューム
タスキ
 5. コスチューム着用時の注意
 6. 靴について
 7. その他
 - 例会でのコスチューム
 - パニエの色について
 - コスチュームを着た時の姿勢について
- 終わりに

1. コスチュームにはどうしてパニエが必要なのか？

スカートをふわっと膨らませるためにナイロンチュールで作られたパニエ。子どものころ外国の王女様のドレスに憧れて、フランス人形のようなふわふわと膨らんだスカートの女の子を絵に描いて楽しんだ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そんなパニエを初めて身につける時、戸惑いや照れくささを、どなたも感じると思います。でも身につけてみると、日常の生活を全て忘れていつもと違う自分を感じ、心が浮き立ってくるでしょう。スクエアダンスと出会わなかったら、この女の子の象徴のようなドレスを身につける体験もできなかったでしょうし、その楽しさにも出会えなかったことでしょう。

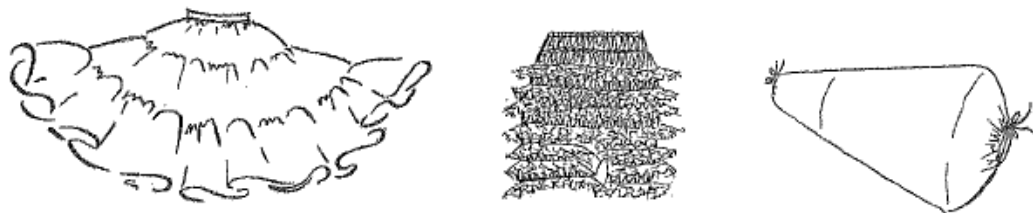
そうです。パニエは日常と違う楽しいスクエアダンスの世界への案内人です。そしてスクエアダンスには無くてはならないものなのです。このパニエを駆使して、ダンスをより楽しくするスカートワークを行います。挨拶をする時、カートシーターンをしてもらう時、ウィーブザリング、サッシュエイなど、真ん中にスカートを集めたり美しくスカートをひらめかせたりする楽しさは、スクエアダンスのもう一つの楽しみです。スカートワークについては、講習会等が企画されることがありますので、その時は是非積極的に参加し、身につけてください。

パニエの下にはシーシーパンツをはき、トワールなどの時などに下着が見えないように配慮します。シーシーパンツはレースやフリル等で飾られているものが多く、パニエと色を合わせて楽しんでも良いでしょう。

パニエ入れは皆さん工夫しています。ご自分で作ったり、洗濯ネットを使用したり、風呂敷も意外と小さく纏められますので、利用している方もいらっしゃいます。普段はハンガー等にかけておく方が良いでしょう。型崩れしません。また洗濯はネットに入れて、洗濯機でも洗えます。

パニエを手作りする方もいらっしゃいますが、ナイロンチュールは縫いにくく大変な作業ですので、スクエアダンス関係のショップに注文すると良いでしょう。最近ハマキが45m～60mのものを使用していることが多いようです。

長さはスカートに合わせ、スカートと同じ長さにします。短すぎるとスカートがたるみ美しくありませんし、長すぎるとスカートからはみ出してしまいます。下着ですので、スカートからはみ出さないようウエストからスカート丈までの程よい長さで注文しましょう。



2. コスチュームの作り方

ほとんどのクラブでは、自分たちのカラーや模様クラブコスチュームを持っています。最初に着る一枚はクラブのコスチュームになることが多いでしょう。先輩の指導で、デザイン等のアドバイスを受け、自分で作ったり、仲間に作ってもらったり、専門業者さんに頼むこともあると思いますが、普通のお洋服づくりと少し違うところがありますので、作り方のポイントを先輩の方々に聞いておきましょう。ウェストは少し高めにする、重心が上に行きスマートな感じになります。スカートはスカートワークをするために、両手で持ったとき半円以上に広がるよう作ります。

[生地] 木綿の生地を使用するのが一般的です。

木綿は安価で、四季を通して着ることができますし、着心地も良く、汗の吸収にも優れ、柄も豊富で、何よりも縫いやすいのが特徴です。

また、木綿とポリエステル混紡はしわになりにくく、洗濯後のアイロンがけが楽で便利です。

[袖] 袖は基本的には半袖です。

あまりぴったりだと手が上に上がりず踊りにくいので、ちょうちん袖にすることが多いようです。

袖なしにする場合は、あまり肌を露出させないよう、フリルなどをつけて少し腕を隠すと良いでしょう。

[スカートの長さ] 基本的には膝たけぐらいまでの長さが一般的です。

若い人は膝上でも可愛いし、膝上に抵抗のある方は、ひざ下でも良いでしょう。ご自分にあった長さで楽しみましょう。

ただロングのドレスはスカートワークには不向きですので、長くする場合は気をつけましょう。アメリカでデモンストレーションで着ていたロングドレスは、片手でスカートを肩以上まで持ち上げることができました。生地を沢山使う、重いドレスになっていました。

クラブの先輩たちは、クラブコスチューム以外にも、いろいろなコスチュームを持っています。自分の好きな色、似合う柄を選び、デザインもさまざまです。フリルを入れたり、別の生地を合わせアクセントをつけたり、パッチワークを入れたり、思い思いのデザインが素敵です。自分が思うようなイメージのコスチュームを作るためには、やはり自分が縫うのが一番です。洋裁経験のない方も是非チャレンジしてみてください。

コスチュームの作り方を紹介しているテキストがありますので、紹介しておきます。参考にしてください。

■「Square Dance For All Part2」 第4章 コスチューム 第1項 スクエアダンス
コスチューム 販売 一般社団法人日本スクエアダンス協会 500円

洋裁に慣れていない方は、
最初はこの様なスカートからチャレンジして
素敵なブラウスと組み合わせても良いです。



アメリカでも柄を合わせたセパレート型が良く見られますが、踊って手を上げた時に、ウェストからブラウスが少しずつはみ出してくるのが欠点です。
慣れてきたら頑張ってワンピースを作ってみましょう。

一度作ると、デザインや柄選びに次々と思いを巡らせ、スクエアダンスのもう一つの楽しみになります。パーティーに出かけた時には、皆さんの素敵なコスチュームを参考にしましょう。

3. 男性のコスチューム

男性は女性のような華やかさはありませんが、女性の素敵なコスチュームにふさわしい衣装を整えましょう。清潔感を大切にして爽やかな印象になるよう心掛けることも大事です。スクエアダンスでは男性は女性のリード役でもあり、紳士として女性をエスコートする存在です。

男性のコスチュームの基本はウェスタンシャツとズボンです。おしゃれにチョッキを合わせることもあります。シャツは長袖で身体に沿ったものを選びましょう。腕には女性の手が組まれることも有りますので、汗や体毛に触れないよう長袖にします。またぶかぶかですと女性が背中に手を添えようとした時、しっかり捕まえにくく踊りにくく感じます。シャツはズボンの中にしっかり入れ、バンドで押さえましょう。

アメリカの「NEEDLE NOTES」Judy Ross Smith 著に、男性のコスチュームへの心得が分かりやすく挿絵にされているものがありましたので、参考にしてください。



男性のおしゃれ

[ウェスタンシャツ]

肩、襟、袖口に素敵な柄を配置し、パイピングなどで飾ります。注文して作ってもらうことが多いのですが、アメリカサイズが合う人はアメリカの業者のカタログで注文することもできます。最近は普通のワイシャツに肩、袖口に別の柄生地を張り付けて、簡単に作ることも多くなってきました。

[ボロータイ]

小さなスカーフをネクタイのように襟元に巻いたり、ボロータイをつけるとお洒落です。スカーフの場合は、スカーフ用の止めるリングを使うと良いでしょう。またボロータイ飾りはいろいろな種類があり、彫金の凝ったものから、木製、石の飾りなど、思い思いに楽しんでいます。これらのアクセサリはコンベンションなどに出品するショップでも手に入ります。

[ベルトとバックル]

バックルは少し大きめにしておくとアクセントをつけると、コスチュームを引き締めるお洒落のポイントになります。ボロータイとバックルのお揃いは豪華です。ベルトは飾りや金具などがついたウェスタン調のバンドで楽しんでいる人もいます。

4. 男性役の女性のコスチューム

スクエアダンサーも女性の数が増え、女性が男性役をこなさないと成り立たなくなってきました。この変化に対応するコスチュームの指針はまだ出されておりませんが、踊るときに混乱がないよう、おなじセットのダンサーに分かりやすく、また皆で楽しむための工夫が、男性役のコスチュームに必要とされています。男性役になった時は男性の役割を再認識し、女性をエスコートしやすいコスチュームへの心がけが大事です。

[男性役でも、女性役でも踊る場合のコスチューム]

☆女性のコスチュームを用意してください。

☆女性で踊る時はスカートワークができるようにしましょう。

☆男性役で踊る場合は、タスキをかけます。細い紐は見にくいので、目立つようにコスチュームと重ならない色で3～4センチ程度の幅があるタスキが良いでしょう。

※日本スクエアダンス協会では、タスキの色は「黄色」を推奨しています。

[一日男性役で踊る時のコスチューム]

☆基本的には、男性のスタイル、長袖シャツとズボンが望ましいです。

「3.男性のコスチュームの」項を参考にしてください。

ただ、半袖シャツは女性なので許容範囲です。

☆身体の線を隠したいためにシャツを上に出すのは控えましょう。

ウエスト周辺までの丈の短いオーバーブラウスにしたり、チョッキを着用したりして工夫を図りましょう。

☆最近裾の広がりの無い、ロングスカートを着用する人も出てきました。

ただこの場合は一日中、男性役のみで踊るときにしましょう。裾のひろがりの無いスカートは男性役の踊りとして邪魔にならず良いのですが、スカートワークができません。ロングスカートで女性役を踊ると、セットの方たちも本来の華やかなスカートワークがなくなり、スクエアダンスの楽しみがそがれます。

5. コスチューム着用時の注意

コスチュームを着用する時のマナーについても、心掛けましょう。

☆踊ると汗をかきます。汗対策として、下着をつけましょう。有る程度の汗は吸い取ってくれます。自分が汗かきだと思ったら着替えのコスチュームを準備しましょう。

☆触れ合うことの多い、手や爪は清潔にしましょう。伸びている爪は知らずに相手を傷つけてしまう事があります。

☆女性のアクセサリにも注意してください。とがった指輪やブローチは人を傷つけるばかりでなく、素敵なコスチュームに引っ掛かり傷めてしまう事もあります。

☆香水のつけすぎにも注意してください。香水の苦手な人もいます。

☆カウボーイハットや、ウェスタンブーツはおしゃれですが、ダンスの時は注意してください。帽子は室外で被るもので、室内ではマナー違反です。またブーツは堅い底で出来ているものが多く、床を傷つけやすいので要注意です。会場の状況に応じて身につけましょう。

☆パーティーに参加するときは、コスチュームにクラブバッジをつけ、ダンサーの皆さんと親睦をはかりましょう。つける位置は良く見えるよう、また踊りの邪魔にならないようコスチューム胸元につけると良いでしょう。

☆またビギナーバッジ（DOSADO バッジ等）を貰った場合は、必ず身につけて踊りましょう。ダンサーの皆さんが初心者のために、楽しく踊れるよう配慮してくれます。

6. 靴について

スクエアダンスを踊る靴にも注意を払いましょう。

パーティーの会場によっては、体育館や木製の床の場合、底の堅い靴は床を傷つけてしまうので、禁止されている場合があります。ヒールが高いものは床を傷つけやすいので要注意です。パーティー案内を良く見て、靴の指定があるかどうか確認しましょう。最初に用意する靴は、ゴム底（靴底は白色）ヒールが2cm以下のものが良いでしょう。この靴ならどこでも大丈夫です。

絨毯敷きの会場の場合、靴が滑らず足がとても疲れることがあります。

そんな対処として絨毯用の靴があります。底に皮が貼ってあるので、滑りがとても良いのです。2足目の靴にいかがでしょうか。

踊りやすい靴はスクエアダンスを長時間楽しめます。自分の足や会場にあった靴を選んでください。

7. その他

● 例会でのコスチューム

例会ではコスチュームを着けるクラブと、着けないクラブがあると思います。仕事帰りに例会場に来る方たちには、大変な荷物です。そのクラブの状況によって判断されていると思いますので、クラブの指示に合わせましょう。

ただコスチュームで踊る例会には、なるべくコスチュームで踊る努力をしましょう。

例会場は華やかになり、スクエアダンスの雰囲気がかもし出されます。またコスチュームをつけて踊るとダンスが上手くなるといわれています。踊る時の自然の立ち振る舞い相手との組み方、スカートワークなど、積み重ねることによって滲み出てくるものです。

●パニエの色について

パーティーに行くと、色鮮やかな色々のパニエに目を奪われるでしょう。どれも素敵であんな色も欲しい、こんな色も良いと、迷われることと思います。

初めてのパニエは白色か、自分たちのクラブコスチュームに合わせた色を選ぶのが無難です。白色は上品でどんな色のコスチュームにもあいます。白色の欠点は時と共に黄ばんでくることです。そんな時の一案として、ナイロン染めの染料でパニエを染めている人がいます。コスチュームに合う色を選び、染め方の指示通りに、洗濯機を利用して簡単に染められます。白色なら見本に近い色に染まるようです。

●コスチュームを着た時の姿勢について

素敵なコスチュームを着ても、姿勢が悪いとだいなしです。ダンスを踊るときは胸を張り姿勢良くしましょう。顔はしっかりとあげ、微笑みを絶やさず、相手の目をしっかりと見つめ、スカートを持って挨拶しましょう。美しい姿勢とコスチュームを身に付けたスタイリングで、スクエアダンスがますます楽しくなってきます。

終わりに

コスチュームは、スクエアダンスに欠かせない存在であると共に、スクエアダンスの世界を華やかに盛り立ててくれます。それと同時に着用している自分自身を、生き生きとさせてくれる貴重な役割も、担ってくれているのです。

どうぞダンスとともに、コスチュームの世界もお楽しみください。



編集： 一般社団法人日本スクエアダンス協会
人材育成委員会
委員長 中村 禮子
委員 井上 忠志
委員 武田 好史
委員 関口 正夫
委員 岩原 富雄
委員 若松 眞紀子
発行： 一般社団法人日本スクエアダンス協会
2012年3月 初版発行
2022年3月 PDF版発行（一部改訂）